

# 第1章 現況把握及び将来の見通し

## 1. 赤磐市の概況

### (1) 赤磐市の位置

本市は、中心地（赤磐市役所）の位置が北緯 34 度 45 分、東経 134 度 01 分に位置し、岡山県南東部にあります。

総面積は 209.36km<sup>2</sup>を有し、県土の 2.9%を占めています。北部は美咲町、久米南町、東部を和気町、南西部を岡山市にそれぞれ隣接し、市内には JR 山陽本線熊山駅があり、市の中心部から岡山市中心部へは直線で約 14km の距離にあります。

### (2) 赤磐市の地勢と気候

本市の東部には吉井川が流れており、中央から南部の平野には、赤磐市役所周辺に市街地が、砂川両岸に田園地帯が広がっています。北部から東部にかけては、吉井高原をはじめとする山地や丘陵地となっており、緑の豊かな地域でもあります。

気候は瀬戸内式気候に属し、年間を通じて温暖で、比較的晴天が多く、「晴れの国おかやま」を象徴しています。

また、積雪も少なく、本市は自然条件に恵まれた地域です。

### (3) 市街地の広がり

現在、本市の市域面積は 20,936ha であり、そのうち、3,695ha を都市計画区域に指定しています。都市計画区域内では、675ha を市街化区域（用途地域）に指定しています。

本市における平成 27 年の DID（人口集中地区）人口は約 16,336 人で、DID 面積は 3.05 k m<sup>2</sup>です。DID の変遷をみると、昭和 55 年に山陽団地への居住人口の増加により DID となり、平成 12 年に桜が丘への居住人口の増加により一団の DID が現れ、人口及び面積が大幅に増加しています。

#### ■ 区域別面積

	行政区域	都市計画区域	市街化区域
面積 (ha)	20,936	3,695	675

※令和 4 年 3 月現在

#### ■ DID 人口と面積、人口密度の推移

	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
人口 (人)	7,782	8,329	7,411	7,018	12,261	12,943	15,274	16,336	13,868
面積 (k m <sup>2</sup> )	1.0	1.0	1.0	1.0	2.12	2.25	2.86	3.05	2.63
人口密度 (人/ha)	77.8	83.3	74.1	70.2	58.4	57.5	53.4	53.6	52.7

資料：国勢調査

## (4) 人口動態・特性

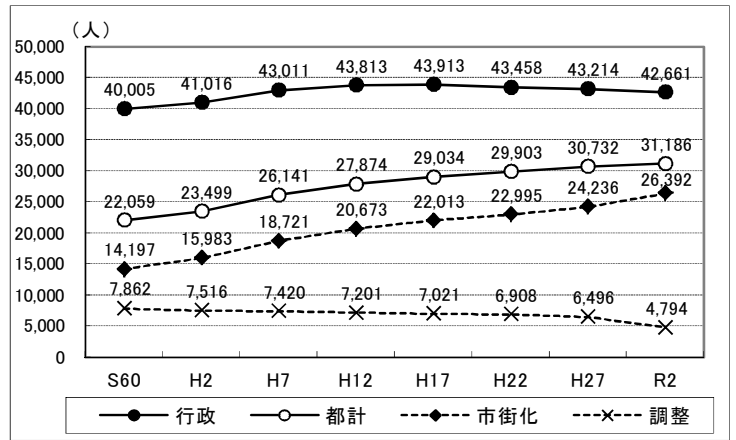
### a) 人口・世帯数

#### ① 人口の推移

行政区域の人口の推移をみると、平成17年までは増加を続けてきましたが、平成22年では減少に転じ、今後もこの傾向が続くと予想されます。

一方、都市計画区域、及び市街化区域の人口は増加を続けており、今後もこの傾向が続くと予想されます。

市街化区域の状況を見ると、東部（桜が丘）で人口が大きく増加し、西部（既成市街地や山陽団地等）は人口が減少しています。



#### ■ 人口の推移

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	R2/H12の増減率
行政区域	40,005	41,016	43,011	43,813	43,913	43,458	43,214	42,661	-2.6%
都市計画区域	22,059	23,499	26,141	27,874	29,034	29,903	30,732	31,186	11.9%
市街化区域	14,197	15,983	18,721	20,673	22,013	22,995	24,236	26,392	27.7%
西部			9,354	8,812	8,641	8,233	7,715	—	-17.5%
東部			9,367	11,861	13,372	14,762	16,521	—	76.4%

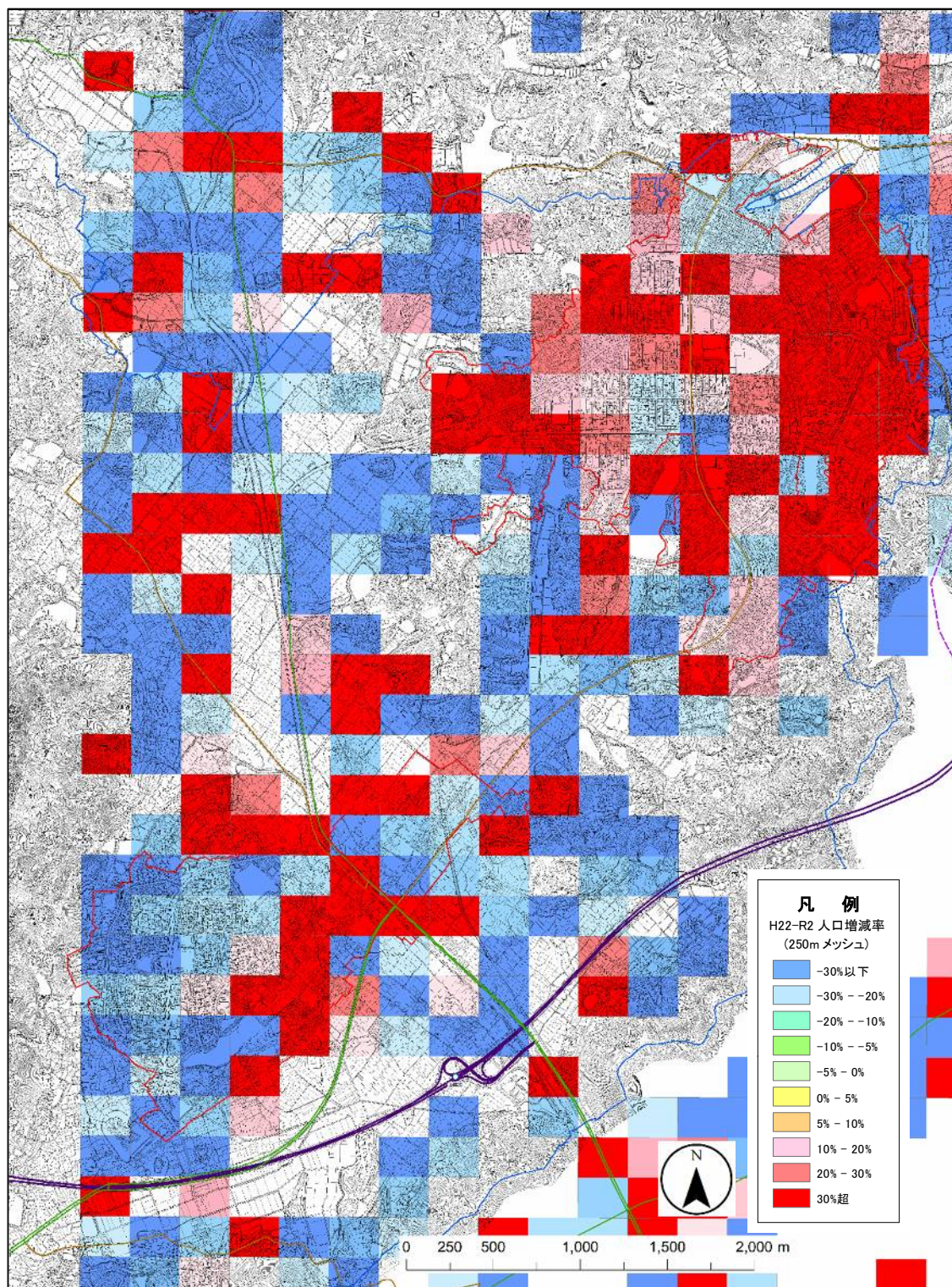
前回より増加
  前回より減少

資料：国勢調査、都市計画基礎調査



## ②250mメッシュ別人口増減（H22-R2）の状況

平成22年から令和2年にかけての人口増減の状況を見ると、大規模な住宅団地で大きく特性が異なり、桜が丘では人口が増加していますが、山陽団地では減少しています。また、県道岡山吉井線沿道等で、人口が増加しているメッシュが多くなっています。



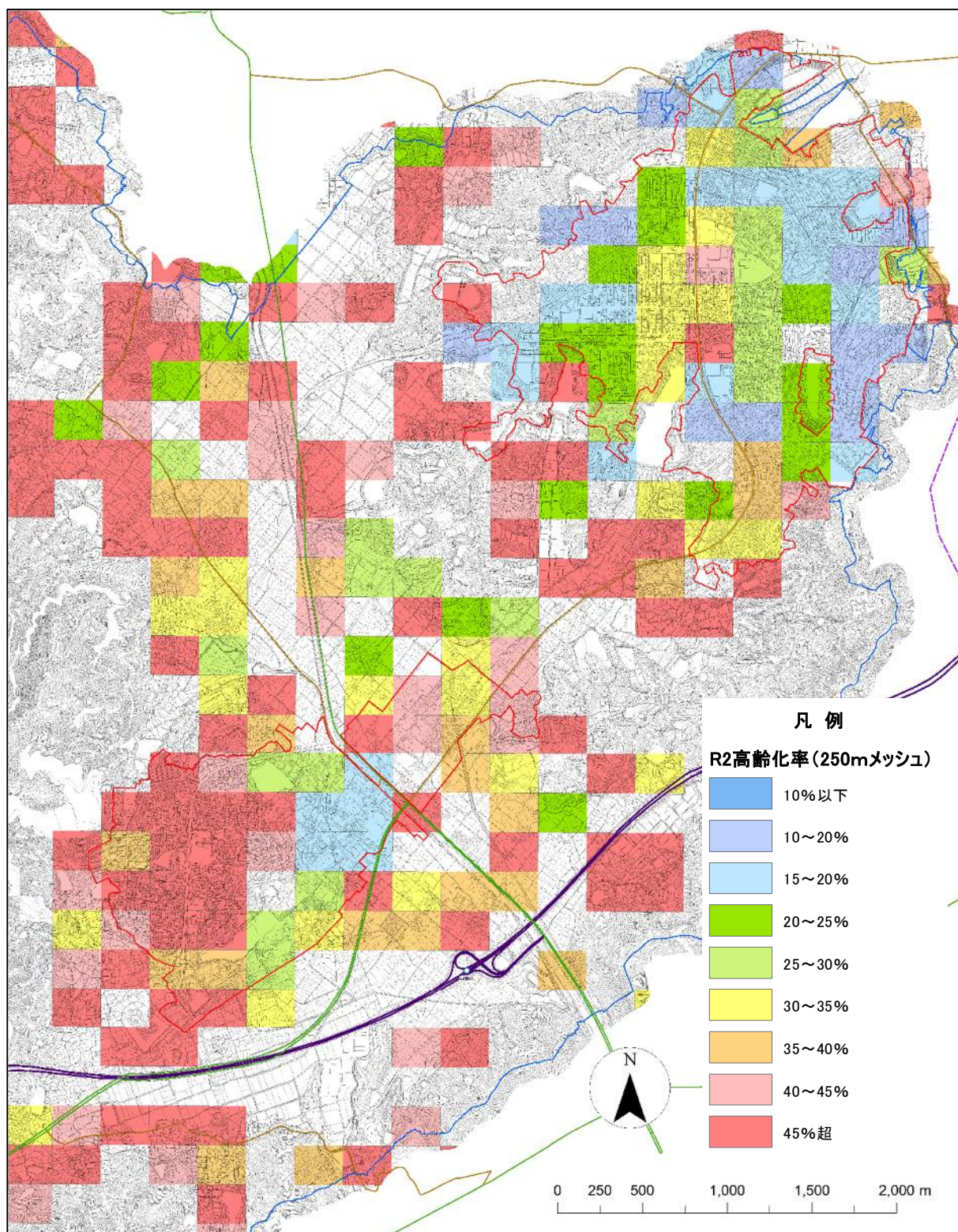
資料：国勢調査(H22,R2)



### ③少子・高齢化の状況

令和2年の市街化区域内の高齢化の状況をみると、桜が丘や砂川右岸の地区では高齢化率が20%未満の地区が多くみられ、特に桜が丘東で高齢化率が低くなっています。

一方、山陽団地は高齢化率が高く、45%を超えている地区が多くみられ、都市活力の低下等が懸念されます。

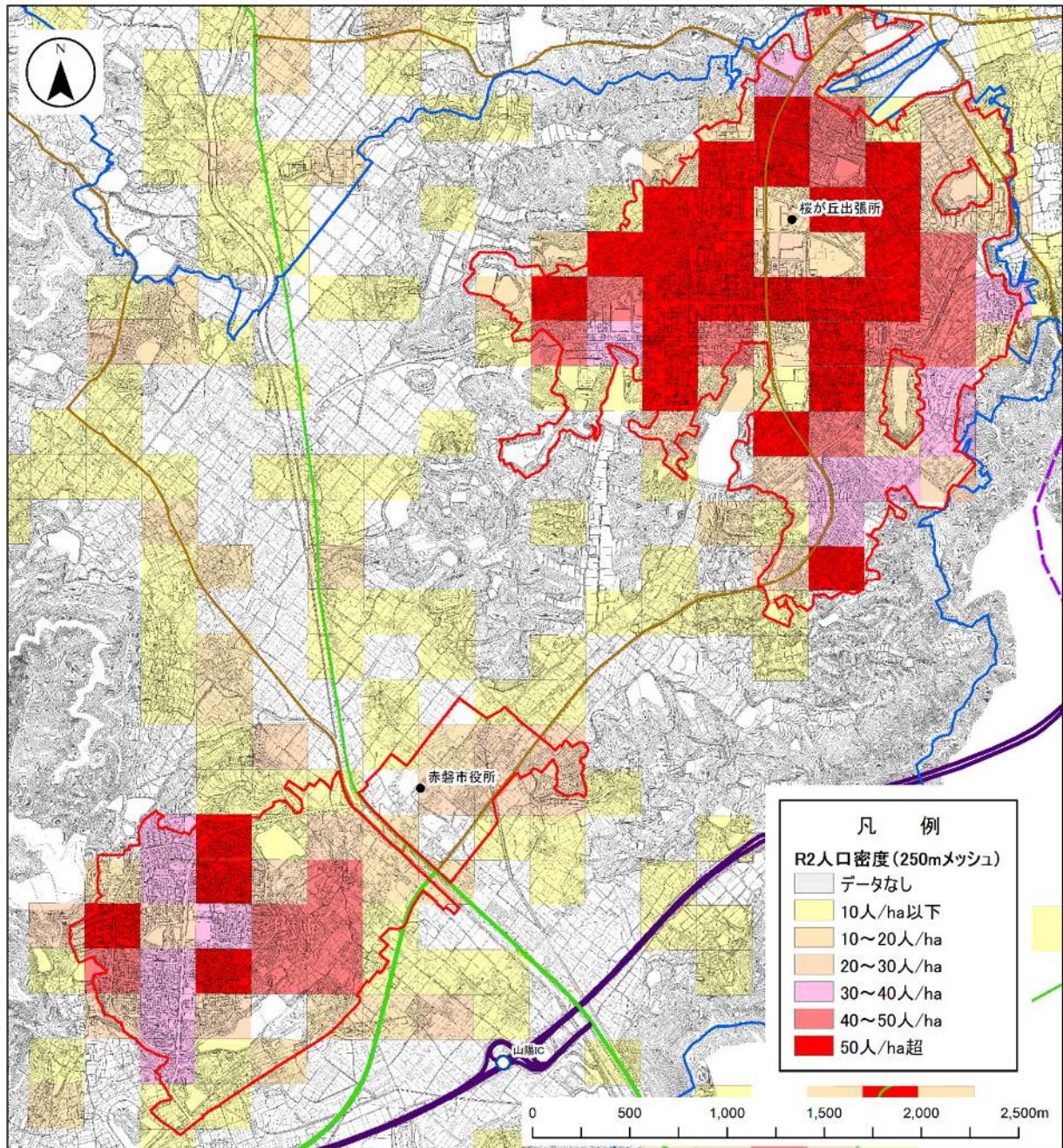


資料：国勢調査(R2)



#### ④250m メッシュ別人口密度の状況

250m メッシュでの令和2年の人口密度をみると、市街化区域内の住宅団地（桜が丘、山陽団地）では人口密度が40人/ha以上のメッシュが多く、その他の市街化区域はやや人口密度が低くなっています。また、市街化調整区域ではほとんどの地区が10人/ha未満となっています。



資料：国勢調査(R2)

## b) 通勤の動向

本市に居住している就業者（常住地による就業者）のうち、半数程度が市外で就業しており、就業先は岡山市が特に多く、市外で働く就業者の7割を占めています。

本市内で働いている就業者（従業地による就業者）は、令和2年は15,911人で、市内に居住している就業者と比較すると8割弱となっており、市内に働く場が少なく市外で働く人が多い状況にあるといえます。特に、全就業者の約35%が岡山市で従業しており、依存度が高くなっています。

### ■ 通勤流動

	常住地による 就業者数 (人)	流出		従業地による 就業者数 (人)	流入		従/常 就業者比 率 (%)
		就業者数 (人)	流出率 (%)		就業者数 (人)	流入率 (%)	
平成7年	21,698	10,170	46.9	14,936	3,408	22.8	68.8
平成12年	21,881	10,756	49.2	15,206	4,081	26.8	69.5
平成17年	21,860	10,865	49.7	16,193	5,198	32.1	74.1
平成22年	20,520	10,973	53.5	14,869	5,110	34.4	72.5
平成27年	20,826	10,725	51.5	15,972	5,840	36.6	76.7
令和2年	20,552	10,676	51.9	15,911	5,903	37.1	77.4

	流出先				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成7年	岡山市	瀬戸町	備前市	和気町	御津町
平成12年	岡山市	瀬戸町	備前市	和気町	御津町
平成17年	岡山市	瀬戸町	備前市	和気町	瀬戸内市
平成22年	岡山市	備前市	和気町	瀬戸内市	倉敷市
平成27年	岡山市	備前市	和気町	瀬戸内市	倉敷市
令和2年	岡山市 7,168人	和気町 825人	備前市 759人	瀬戸内市 629人	倉敷市 278人

	流入先				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成7年	岡山市	瀬戸町	和気町	佐伯町	備前市
平成12年	岡山市	瀬戸町	和気町	佐伯町	備前市
平成17年	岡山市	瀬戸町	和気町	備前市	瀬戸内市
平成22年	岡山市	和気町	備前市	瀬戸内市	美作市
平成27年	岡山市	和気町	備前市	瀬戸内市	美作市
令和2年	岡山市 3,805人	和気町 574人	備前市 357人	瀬戸内市 309人	美作市 216人

資料：国勢調査

### 【人口動態・特性の概要】

本市の人口動態・特性をみると、市全体の人口が減少に転じた中でも桜が丘の人口増加等により、都市計画区域及び市街化区域の人口は堅調に増加しています。市街化区域内の人口は都市計画区域人口の約78%を占め、市街化区域人口の約89%は桜が丘及び山陽団地に居住しています。

また、桜が丘では高齢化率が低いことから、新たな居住者は現役世代が多いと考えられます。

通勤の状況をみると、市内に居住する就業者の約半数が市外で就業しており、その約7割が岡山市に就業していることから、岡山市のベッドタウンとしての特徴を持っていると考えられます。



## (5) 土地利用等

### a) 土地利用の状況

土地利用の状況をみると、市街化区域内の農地の割合は 3.9%と岡山県南広域都市計画区域（以下、「県南広域」という。）を構成する市町で最も低く、下市や河本、岩田の一部に農地が残る程度となっています。一方で、桜が丘には戸建て住宅用地がその他の空地として多く残っていますが、家屋の新築が進み、人口の増加とともに確実に減少しています。

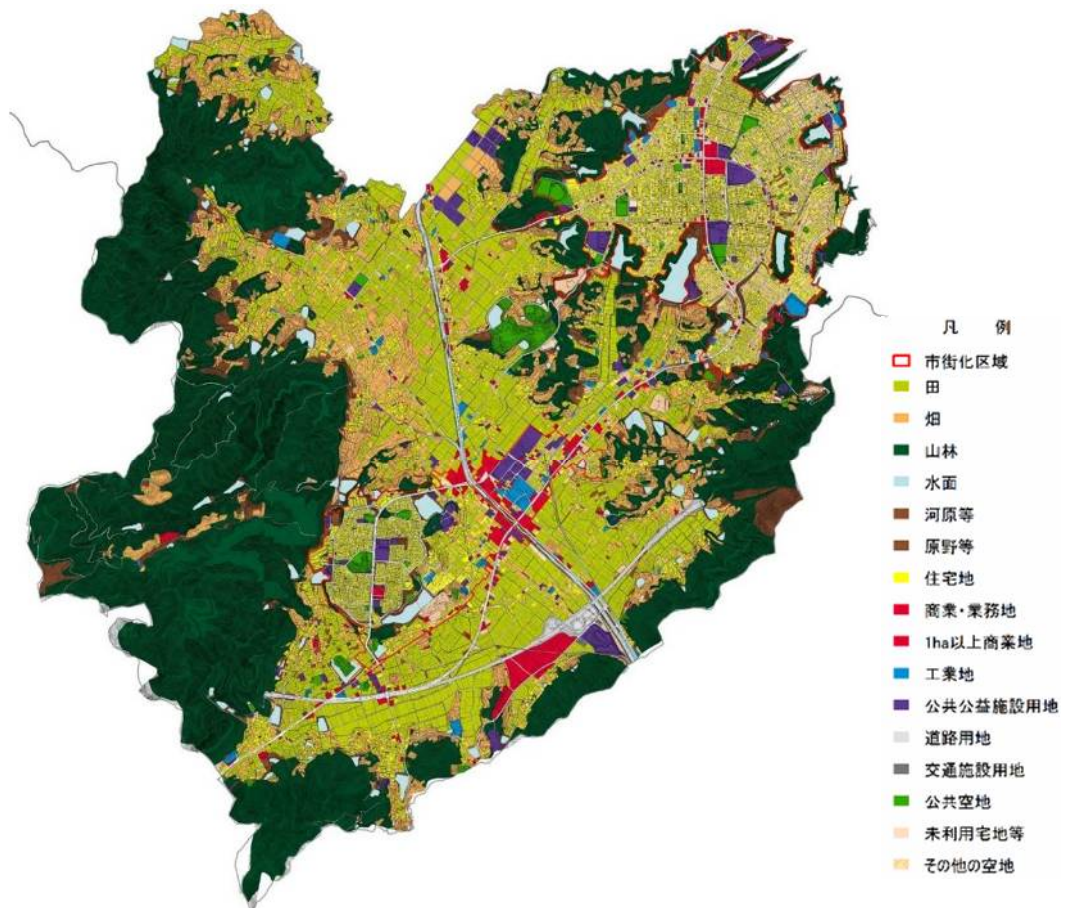
市街化調整区域では農地及び森林の土地利用がほとんどとなっていますが、幹線道路沿道等では一部建物用地の土地利用がみられます。

県南広域で比較すると、市街化区域内の宅地の状況は、住宅地の割合が約 85%となっており、県南広域の平均を 20 ポイント程度上回っています。一方で、工業地の割合は約 5%と県南広域で最も低く、面積も総社市の 1 割程度となっています。また、商業地の割合も約 10%と玉野市に次ぐ低い割合となっており、商業や工業を岡山市等に依存し、他都市に比べて都市機能が脆弱であることがうかがえます。

単位：上段 ha、下段 %

市街地区分	自然的土地利用					都市的土地利用								合計	現況 可住地
	農地	山林	水面	その他 自然地	小計	宅地			小計	公共 公益	道路等	その他 の空地	小計		
						住宅	商業	工業							
市街化区域	26.5 (3.9)	18.9 (2.8)	10.3 (1.5)	28.6 (4.2)	84.2 (12.5)	256.9 (38.1)	29.7 (4.4)	15.3 (2.3)	301.8 (44.7)	75.9 (11.3)	131.5 (19.5)	81.5 (12.1)	590.8 (87.5)	675.0 (100.0)	442.2 (65.5)
市街化調整区域	983.9 (32.6)	1,359.7 (45.0)	85.8 (2.8)	134.3 (4.4)	2,563.8 (84.9)	151.7 (5.0)	34 (1.1)	13.3 (0.4)	199.1 (6.6)	66.0 (2.2)	169.4 (5.6)	21.7 (0.7)	456.2 (15.1)	3,020.0 (100.0)	2,570.1 (85.1)
合計	1,010.4 (27.3)	1,378.6 (37.3)	96.1 (2.6)	162.9 (4.4)	2,648.0 (71.7)	408.6 (11.1)	63.7 (1.7)	28.6 (0.8)	500.9 (13.6)	141.9 (3.8)	300.9 (8.1)	103.2 (2.8)	1,047.0 (28.3)	3,695.0 (100.0)	3,012.3 (81.5)

資料：平成 28 年市調査（一部修正）



■ 県南広域における土地利用現況 (H30)

単位：上段 ha、下段 %

		自然的土地利用					都市的土地利用					合計	現況 可住地
		農地	山林	水面	その他の 自然	小計	宅地	公共 公益等	道路等	その他 の空地	小計		
市街化区域	岡山市	557.6 (5.4)	271.3 (2.6)	143.2 (1.4)	128.0 (1.2)	1,100.1 (10.6)	5,730.1 (55.2)	1,050.1 (10.1)	1,953.7 (18.8)	556.0 (5.4)	9,289.8 (89.4)	10,389.9 (100.0)	6,478.6 (62.4)
	倉敷市	991.0 (8.2)	363.9 (3.0)	253.8 (2.1)	195.8 (1.6)	1,804.5 (14.9)	6,766.4 (56.0)	943.3 (7.8)	1,882.3 (15.6)	690.6 (5.7)	10,282.5 (85.1)	12,087.0 (100.0)	6,604.7 (54.6)
	玉野市	129.1 (7.3)	194.9 (11.0)	27.3 (1.5)	56.6 (3.2)	407.8 (23.1)	881.8 (49.8)	146.0 (8.3)	241.3 (13.6)	92.1 (5.2)	1,361.2 (76.9)	1,769.0 (100.0)	1,066.7 (60.3)
	総社市	94.8 (10.1)	14.3 (1.5)	7.0 (0.7)	15.7 (1.7)	131.8 (14.0)	560.3 (59.7)	56.6 (6.0)	147.5 (15.7)	41.8 (4.5)	806.2 (86.0)	938.0 (100.0)	567.0 (60.4)
	赤磐市	26.5 (3.9)	18.9 (2.8)	10.3 (1.5)	28.6 (4.2)	84.2 (12.5)	301.8 (44.7)	75.9 (11.3)	131.5 (19.5)	81.5 (12.1)	590.8 (87.5)	675.0 (100.0)	442.2 (65.5)
	早島町	21.7 (6.7)	44.3 (13.6)	6.1 (1.9)	14.1 (4.3)	86.1 (26.5)	136.3 (41.9)	38.6 (11.9)	55.7 (17.1)	8.3 (2.5)	238.9 (73.5)	325.0 (100.0)	188.7 (58.1)
	合計	1,820.5 (7.0)	907.5 (3.5)	447.7 (1.7)	438.8 (1.7)	3,614.6 (13.8)	14,376.7 (54.9)	2,310.5 (8.8)	4,412.0 (16.8)	1,470.2 (5.6)	22,569.3 (86.2)	26,183.9 (100.0)	15,347.9 (58.6)
	市街化調整区域	岡山市	14,162.9 (29.5)	20,414.0 (42.5)	2,461.6 (5.1)	2,718.7 (5.7)	39,757.3 (82.8)	3,311.6 (6.9)	1,203.5 (2.5)	2,833.3 (5.9)	916.9 (1.9)	8,265.2 (17.2)	48,022.5 (100.0)
倉敷市	5,066.3 (21.8)	11,554.4 (49.7)	922.2 (4.0)	1,018.6 (4.4)	18,561.4 (79.8)	2,003.0 (8.6)	690.3 (3.0)	1,426.3 (6.1)	572.9 (2.5)	4,692.6 (20.2)	23,254.0 (100.0)	19,087.6 (82.1)	
玉野市	1,246.4 (14.7)	5,599.9 (65.8)	273.3 (3.2)	315.7 (3.7)	7,435.3 (87.4)	377.9 (4.4)	214.2 (2.5)	242.8 (2.9)	233.8 (2.7)	1,068.7 (12.6)	8,504.0 (100.0)	7,396.2 (87.0)	
総社市	2,595.2 (18.7)	8,509.2 (61.4)	418.0 (3.0)	517.5 (3.7)	12,039.8 (86.9)	813.4 (5.9)	251.7 (1.8)	530.5 (3.8)	214.6 (1.5)	1,810.2 (13.1)	13,850.0 (100.0)	12,077.1 (87.2)	
赤磐市	983.9 (32.6)	1,359.7 (45.0)	85.8 (2.8)	134.3 (4.4)	2,563.8 (84.9)	199.1 (6.6)	66.0 (2.2)	169.4 (5.6)	21.7 (0.7)	456.2 (15.1)	3,020.0 (100.0)	2,570.1 (85.1)	
早島町	160.1 (36.6)	62.8 (14.4)	18.6 (4.3)	11.3 (2.6)	252.8 (57.9)	57.6 (13.2)	23.7 (5.4)	62.6 (14.3)	40.3 (9.2)	184.2 (42.1)	437.0 (100.0)	310.4 (71.0)	
合計	24,214.94 (24.9)	47,499.94 (48.9)	4,179.54 (4.3)	4,716.05 (4.9)	80,610.48 (83.0)	6,762.56 (7.0)	2,449.32 (2.5)	5,265.03 (5.4)	2,000.11 (2.1)	16,477.02 (17.0)	97,087.50 (100.0)	80,003.01 (82.4)	
合計	岡山市	14,720.5 (25.2)	20,685.3 (35.4)	2,604.8 (4.5)	2,846.7 (4.9)	40,857.4 (69.9)	9,041.7 (15.5)	2,253.6 (3.9)	4,787.0 (8.2)	1,472.8 (2.5)	17,555.0 (30.1)	58,412.4 (100.0)	45,040.0 (77.1)
	倉敷市	6,057.3 (17.1)	11,918.3 (33.7)	1,176.0 (3.3)	1,214.4 (3.4)	20,366.0 (57.6)	8,769.4 (24.8)	1,633.6 (4.6)	3,308.6 (9.4)	1,263.5 (3.6)	14,975.0 (42.4)	35,341.0 (100.0)	25,692.3 (72.7)
	玉野市	1,375.5 (13.4)	5,794.8 (56.4)	300.6 (2.9)	372.3 (3.6)	7,843.1 (76.3)	1,259.7 (12.3)	360.1 (3.5)	484.1 (4.7)	325.8 (3.2)	2,429.9 (23.7)	10,273.0 (100.0)	8,463.0 (82.4)
	総社市	2,690.0 (18.2)	8,523.4 (57.6)	425.0 (2.9)	533.2 (3.6)	12,171.6 (82.3)	1,373.7 (9.3)	308.3 (2.1)	678.1 (4.6)	256.4 (1.7)	2,616.4 (17.7)	14,788.0 (100.0)	12,644.1 (85.5)
	赤磐市	1,010.4 (27.3)	1,378.6 (37.3)	96.1 (2.6)	162.9 (4.4)	2,648.0 (71.7)	500.9 (13.6)	141.9 (3.8)	300.9 (8.1)	103.2 (2.8)	1,047.0 (28.3)	3,695.0 (100.0)	3,012.3 (81.5)
	早島町	181.8 (23.9)	107.1 (14.1)	24.7 (3.2)	25.3 (3.3)	338.9 (44.5)	193.9 (25.4)	62.4 (8.2)	118.3 (15.5)	48.5 (6.4)	423.1 (55.5)	762.0 (100.0)	499.1 (65.5)
	合計	26,035.47 (21.1)	48,407.49 (39.3)	4,627.24 (3.8)	5,154.87 (4.2)	84,225.08 (68.3)	21,139.24 (17.1)	4,759.84 (3.9)	9,676.99 (7.9)	3,470.27 (2.8)	39,046.34 (31.7)	123,271.42 (100.0)	95,350.89 (77.4)

注) 公共公益等: 公共公益施設とその他公的施設の合計  
道路等: 道路と交通施設の合計

資料：H30 都市計画基礎調査

■ 県南広域における土地利用現況 (宅地) (H30)

単位：上段 ha、下段 %

	市街化区域				市街化調整区域				合計			
	宅地				宅地				宅地			
	住宅	商業	工業	小計	住宅	商業	工業	小計	住宅	商業	工業	小計
岡山市	4,032.6 (70.4)	995.9 (17.4)	701.6 (12.2)	5,730.1 (100.0)	2,507.2 (27.7)	423.2 (4.7)	381.2 (4.2)	3,311.6 (36.6)	6,539.8 (72.3)	1,419.1 (15.7)	1,082.8 (12.0)	9,041.7 (100.0)
倉敷市	3,647.3 (53.9)	748.1 (11.1)	2,371.0 (35.0)	6,766.4 (100.0)	1,611.1 (18.4)	250.3 (2.9)	141.6 (1.6)	2,003.0 (22.8)	5,258.4 (60.0)	998.4 (11.4)	2,512.6 (28.7)	8,769.4 (100.0)
玉野市	555.2 (63.0)	85.4 (9.7)	241.1 (27.3)	881.8 (100.0)	276.0 (21.9)	49.3 (3.9)	52.6 (4.2)	377.9 (30.0)	831.3 (66.0)	134.8 (10.7)	293.7 (23.3)	1,259.7 (100.0)
総社市	342.6 (61.1)	66.3 (11.8)	151.3 (27.0)	560.3 (100.0)	664.0 (48.3)	62.1 (4.5)	87.3 (6.4)	813.4 (59.2)	1,006.6 (73.3)	128.5 (9.4)	238.6 (17.4)	1,373.7 (100.0)
赤磐市	256.9 (85.1)	29.7 (9.8)	15.3 (5.1)	301.8 (100.0)	151.7 (30.3)	34.0 (6.8)	13.3 (2.7)	199.1 (39.7)	408.6 (81.6)	63.7 (12.7)	28.6 (5.7)	500.9 (100.0)
早島町	89.7 (65.8)	19.3 (14.1)	27.3 (20.0)	136.3 (100.0)	32.6 (16.8)	8.3 (4.3)	16.8 (8.6)	57.6 (29.7)	122.3 (63.1)	27.5 (14.2)	44.0 (22.7)	193.9 (100.0)
合計	8,924.3 (62.1)	1,944.7 (13.5)	3,507.7 (24.4)	14,376.7 (100.0)	5,242.65 (24.8)	827.24 (3.9)	692.67 (3.3)	6,762.6 (32.0)	14,166.94 (67.0)	2,771.94 (13.1)	4,200.36 (19.9)	21,139.2 (100.0)

資料：H30 都市計画基礎調査



## b) 用途地域の状況

本市では、岡山市のベッドタウンという位置づけで大型住宅団地が開発され、土地利用の状況にあわせて、ほとんどが住居系の用途地域を指定しています。

商業系の用途地域は、山陽団地内と桜が丘の幹線道路沿道等に近隣商業地域を指定しているのみです。

また、工業系の用途地域は、工業専用地域及び工業地域の指定はなく、準工業地域が小規模に指定している程度となっています。

なお、桜が丘内は地区計画により、近隣商業地域、準工業地域ともに用途を制限しており、商業系、産業系の用途地域の面積も小さく設定されています。特に、近隣商業地域については、中心部を除く沿道部は専ら戸建て住宅としての土地利用がなされており、用途地域を設定した当初の土地利用計画と乖離が生じています。

### ■各用途地域の面積一覧表

(ha)

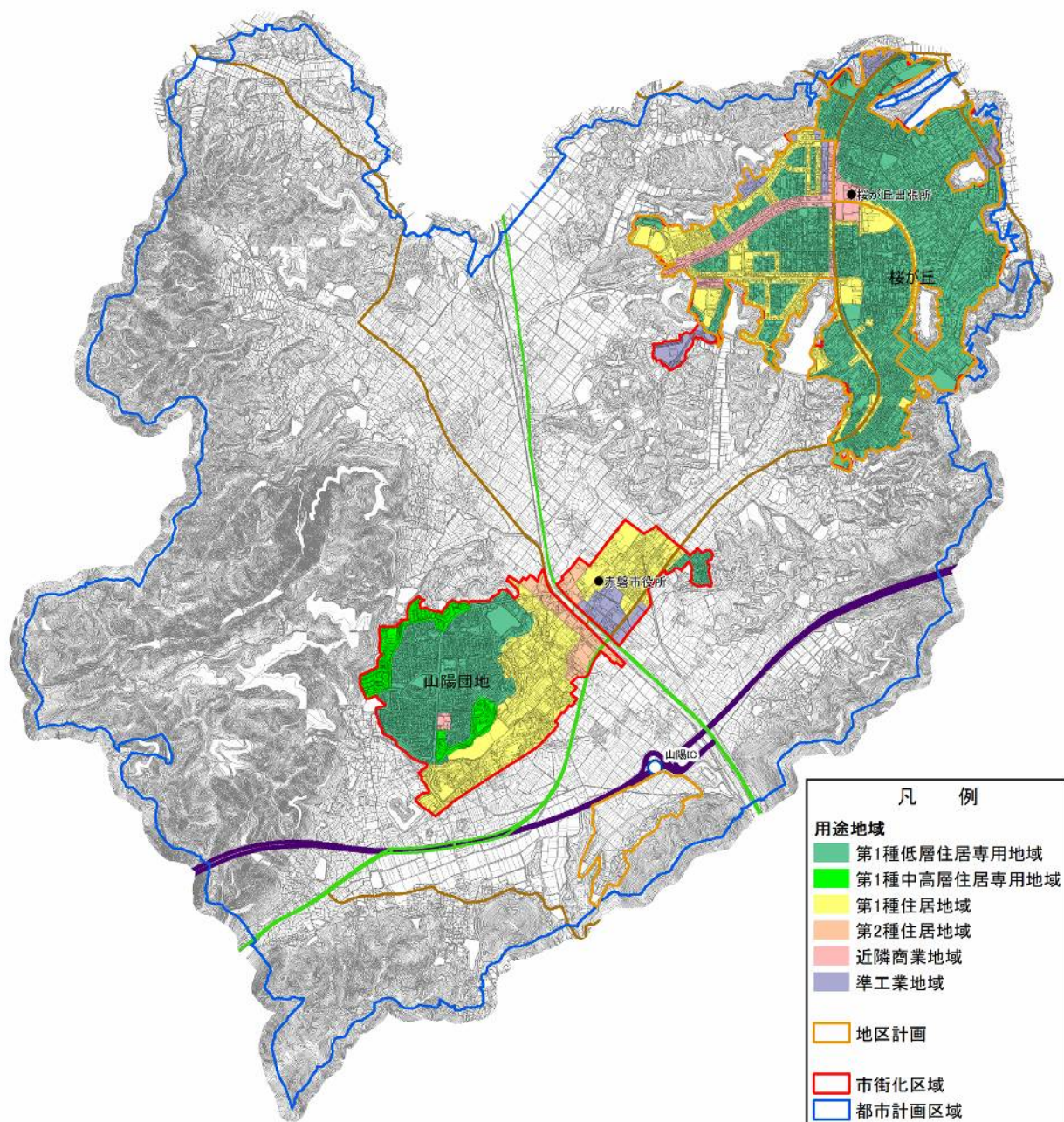
1 低層	1 中高	1 住居	2 住居	近商	準工	合計
422	22	157	19	25	31	675

資料：令和3年都市計画現況調査（国土交通省）

### ■県南広域及び本市と人口規模が同規模以上の都市との用途地域割合の比較

市町名	都市計画区域 人口	用途地域面積	用途地域の割合		
			住居系の割合	商業系の割合	工業系の割合
	千人	ha	ha	ha	ha
岡山市	702.4	10,413.0	65.7%	11.7%	22.6%
倉敷市	481.0	12,087.0	51.7%	4.7%	43.6%
玉野市	56.2	1,769.0	63.5%	10.5%	25.9%
総社市	65.9	938.1	68.3%	7.1%	24.6%
赤磐市	32.2	675.2	91.8%	3.6%	4.5%
早島町	12.6	325.1	56.2%	3.4%	40.4%
津山市	83.1	1,909.5	60.7%	12.1%	27.1%
笠岡市	46.0	1,563.0	40.4%	4.7%	54.9%
井原市	31.1	748.0	48.4%	8.8%	42.8%
備前市	28.2	957.0	51.7%	8.9%	39.4%

資料：令和3年都市計画現況調査（国土交通省）



資料：都市計画基礎調査

**【土地利用等の概要】**

本市の土地利用の状況を見ると、住宅地は桜が丘と山陽団地の2つの大きな住宅団地があり、整然とした住宅地が形成され、その他の住宅地は古くからの集落地を基盤とした住宅地となっています。また、近年は、既存の市街地でも河本地区で土地区画整理事業が行われるなど、新たな住宅地が形成されており、市街化区域内の未利用地の解消が進んでいます。

商業地は砂川沿いや県道岡山吉井線、可真上山陽線沿い等に商業施設が立地していますが、大規模な商業施設の立地は少なく、商業地としてのまとまりはあまりみられません。

工業地は下市地区に2ha程度の一団の工場が立地していますが、都市計画区域内の工場は小規模なものが多くなっています。また、近年は山陽インターチェンジ周辺に広域的な産業基盤の構築を図るため、地区計画を指定し、中核流通業務拠点の形成を進めています。



## (6) 公共交通の利用状況

道路交通は、山陽自動車道が市南部をほぼ東西に横断しており、南西部には山陽インターチェンジがあり、広域高速交通の利便性が高い地域となっています。

また、都市計画区域内では、県道岡山吉井線や西大寺山陽線、可真上山陽線の交通量が多く、市内外を結ぶ基幹軸となっています。

鉄道は、県南広域では結ばれておらず、都市計画区域外である熊山地域の JR 熊山駅や隣接する岡山市の JR 瀬戸駅等があるものの、いずれも徒歩圏から大きく外れています。

鉄道の充実していない本市の都市計画区域では、公共交通をバスに大きく依存しています。そのバス路線は、市内に広く通っており、市街化区域内はほとんど徒歩圏となっています。しかし、路線により運行本数に大きな違いがあり、民間交通事業者の路線バスは、美作線（ネオポリス方面）ではおおよそ 1 時間に 2～4 便程度運行され、基幹的公共交通路線（日 30 本以上の運行頻度（おおむねピーク時片道 3 本以上に相当）の鉄道路線及びバス路線をいう。）となっています。その他の路線は、赤磐市広域路線バスでは運行間隔が 4 時間あまりとなっています。また、赤磐市民バスは、都市計画区域内では、週 5 日の運行で、1 日 3 便（循環）の路線が多くなっています。

また、バスへの依存度が高いにもかかわらず、ハブ機能を持った交通結節点はなく、各路線間及び鉄道との連携や市域内外とのネットワーク機能の面において課題を抱えています。

民間交通事業者の路線バスのサービス状況

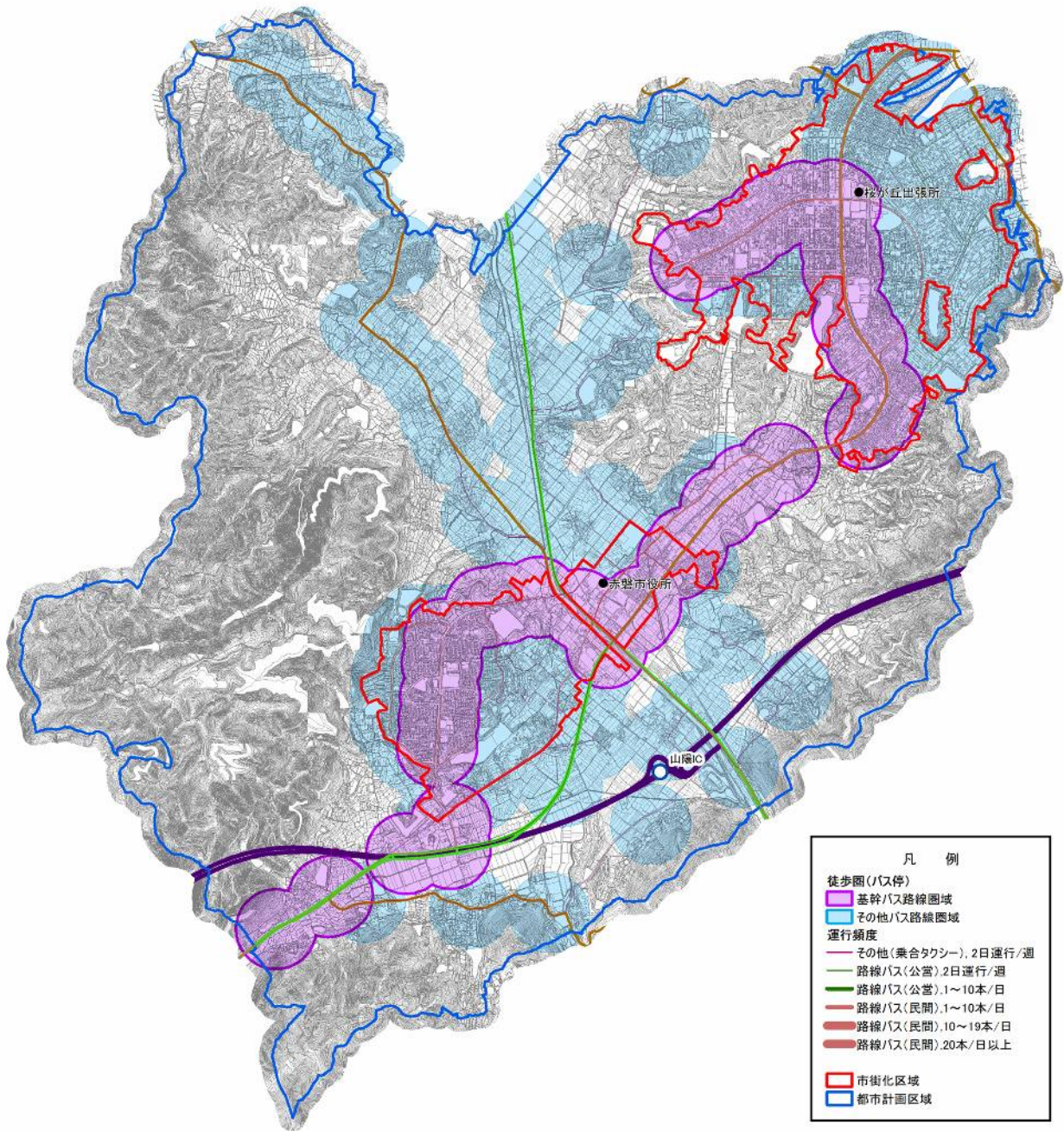
運行主体	路線	運行時間	日運行便数
宇野自動車㈱	美作線（町苅田・林野駅方面）	平日 06:01～19:55 土日祝 06:10～19:56	平日 6 往復 土日祝 6 往復
	美作線（ネオポリス方面）	平日 06:14～22:57 土日祝 06:34～22:54	平日 49 往復 土日祝 39 往復
	ネオポリス・瀬戸線 （ネオポリス方面）	平日 06:05～23:00 土日祝 06:34～22:56	平日 41 往復 土日祝 33 往復
	ネオポリス・瀬戸線 （平島・瀬戸駅経由）	平日 05:40～21:40 土日祝 06:58～20:27	平日 12 往復 土日祝 7 往復

令和 4 年 6 月 1 日現在  
資料：各社ホームページ

赤磐市民バスのサービス状況

地域	路線	運行日※	運行時間	日運行便数	運賃
山陽・赤坂	西山線	月～金	08:35～16:20	3 往復	200 円均一
	山陽団地線	月～金	09:25～13:04	2 往復	
	高陽北西線	火・金	08:30～17:04	3 往復	
	高月・高陽南線	火・金	09:12～16:24	3 往復	
赤坂	笹岡線	火・金	08:08～12:39(夏)	1 往路・2 復路	
	北佐古田線		09:10～13:20(夏)	1 往路・2 復路	
熊山	可真・桜が丘東線	月～土	06:39～18:23	6 往復	
	小野田線		06:49～17:56	6 往復	
	豊田・熊山線	月～土	06:46～18:03	6 往復	
	石蓮寺線	月・木	08:30～11:55	2 往復	
吉井	松木・下市線	月～土	09:10～17:15	4 往復	
	是里線	月・水・木	08:15～16:45	2 往復	
	中山線		09:40～18:00	2 往復	
	滝山線	火・金	07:45～17:40	3 往復	
	河原屋線		08:35～16:50	3 往復	
	西勢実・中勢実線	火・水・金	08:25～16:06	3 往復	
暮田・平山線	月・木	07:33～18:10	4 往復		

令和 4 年 6 月 1 日現在  
資料：市政策推進課



※徒歩圏は 300m とした。

**【公共交通の概要】**

本市の都市計画区域の公共交通網は、区域内に鉄道駅がないため、路線バスを中心とした公共交通体系となっています。基幹的公共交通路線は、桜が丘と岡山市を結ぶ美作線のみで、その他の路線は運行頻度が低くなっており、また、交通結節点もないことから、乗り換えの利便性も低い状況となっています。

※「基幹バス路線圏域」は、日 30 本以上の運行頻度かつピーク時片道 3 本以上バス停からの圏域とした。